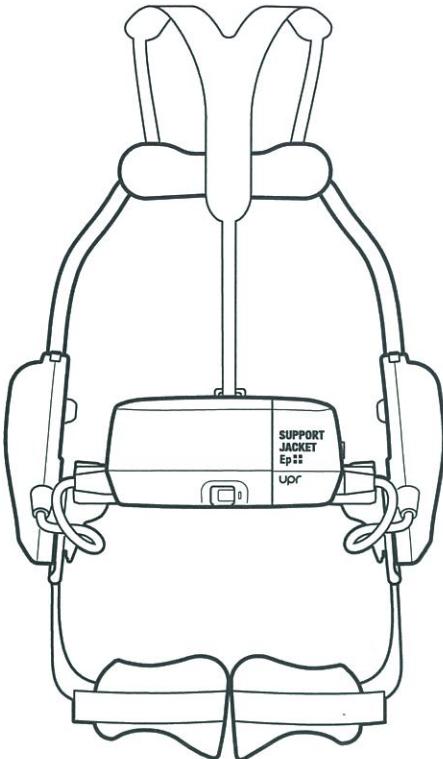


upr



SUPPORT JACKET® Ep ROBO

UPR CORPORATION MADE IN JAPAN

取扱説明書／保証内容

型番：SJ-Ep11

このたびはユーピーアール製品をお買い上げいただきありがとうございます。

取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

ご使用前に「安全上のご注意」(3 ~ 8 ページ) を必ずお読みください。

保証内容は本取扱説明書に含まれておりますので大切に保管してください。

※本書に使用しているイラストは説明イメージのため、実物とは多少異なります。

190802

第 1.2 版

03180500Z05B

もくじ

安全上のご注意	3
危険	4
警告	5
注意	6～8
ご使用の前に	9
パッケージ内容	9
各部の構成	10～11
バッテリーの充電	12
特長と使い方	13
本機の特長	14
装着方法	15～18
起動方法・終了方法・調整方法	19
バッテリー残量の表示・エラーの表示	20
作業後の操作・お手入れ	21
ベルト類の取り外し方	22～23
ベルト類の取り付け方	24～25
収納方法	26
質問と回答	27
トラブル解決方法	28
保証内容	29
消耗部品	30
製品仕様	31

安全上のご注意

本製品をご使用になる前に、必ず本書に記載されている説明と警告マークのついた事項をすべてお読みください。

ご使用される方や他の方への危害、財産への損害を防ぐために、本製品をご使用される際は、本書の「安全上のご注意」(3～8ページ)に記載された警告および注意事項を必ず守って製品を安全に、快適にお使いください。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



危険 「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。



「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

! 危険

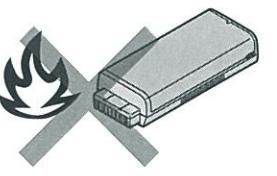
製品を起動したまま乗り物に搭乗しない

不意なアシストにより乗り物の誤操作へつながるおそれがあります。



バッテリーを火に投入、加熱しない

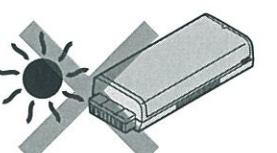
異常加熱による発熱・発火・破裂のおそれがあります。



バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で

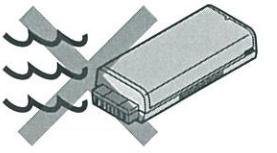
充電・使用・放置しない

異常加熱による発熱・発火・破裂のおそれがあります。



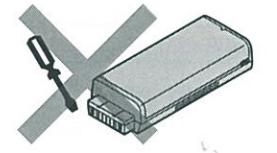
バッテリーや充電器を水に入れたり、ぬらしたりしない

漏電や感電のおそれがあります。



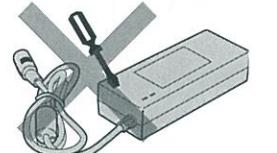
バッテリーに釘を刺したり、短絡・分解・改造しない

発熱・発火・破裂・感電のおそれがあります。



充電器は分解・改造しない

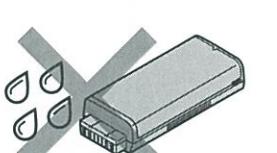
発熱・発火・感電のおそれがあります。



バッテリー、充電器及び機器の端子部を汚したり、

水でぬらしたりしない

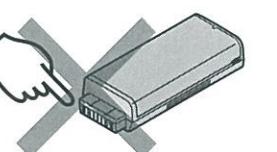
短絡による発熱・発火・破裂のおそれがあります。



バッテリー、充電器及び機器の端子部は手で触ったり、

異物や金属片を入れない

感電・発熱・発火のおそれがあります。



中腰姿勢で全く動かない作業や、荷役作業でない激しい動

作、薄着の服装で使用しない

機器が熱くなり長時間の接触で低温火傷のおそれがあります。



! 警告

使い方（13～26ページ）を守らず使用しない

機器の不意な動作によりけがをするおそれがあります。

足場が不安定な環境や狭い場所等のバランスをくずしやすい場所で使用しない

狭い場所、足場が不安定な場所等では、接触、転倒等でけがをするおそれがあります。

脚立や屋根等の高所での使用は、転倒・落下等でけがをするおそれがあります。

ぬれた環境やぬれた状態でバッテリー交換しない

漏電や感電のおそれがあります。

アシスト中に不用意なコントローラのボタン操作をしない

アシストの急な変動や喪失によりけがをするおそれがあります。

機器を分解・改造・改変しない

機器が破損する場合があります。 機器が正常に動作せず、けがをするおそれがあります。

機器を水洗いしない

漏電や感電のおそれがあります。 機器やバッテリーを破損するおそれがあります。

専用バッテリー以外は使用しない

機器の破損、発熱、発火の原因になります。

バッテリー容量低下の警告を無視して使用しない

アシストの低下や急喪失によりけがをするおそれがあります。

電源ケーブル・プラグ・機器のケーブルを破損するようなことはしない（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる等）

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

健常者以外は使用しない また、以下の方は使用しない

本製品は腰痛を改善する機器ではなく症状の悪化等、身体に悪影響を及ぼすおそれがあります。

- ・15歳未満の方、妊娠している方・豊胸手術をされている方・ペースメーカーを使用されている方。
- ・内臓疾患をお持ちの方。

体調不良の時は使用しない

飲酒、各種疾病状態ではけがや事故につながるおそれがあります。

バッテリーの液が漏れたときは、素手で液をさわらず使用しない

液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。

液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけの原因となるおそれがあります。

バッテリーは衝撃を与えたり、重量物の下敷きにしない

発熱・発火・破裂・感電のおそれがあります。

禁止

禁止

⚠ 注意

装着前や装着途中に起動しない

不意な動作によりけがをするおそれがあります。

人、動物、貴重品や美術品の上げ下ろし・運搬に使用しない

人や動物に対して危害を及ぼすおそれがあります。貴重品や美術品を破損するおそれがあります。

装着して走らない

機器抵抗により転倒のおそれがあります。

使用中、機器を使用者以外に触れさせない

機器が思わぬ動作をして、けがをするおそれがあります。

充電量が不十分な状態のバッテリーを使用しない

消耗したバッテリーを使うと短時間でのバッテリー切れ等によりアシストを喪失し、けがをするおそれがあります。

ケーブルに工具袋等をひっかけない

断線等により機器を破損するおそれがあります。

動作がケーブルにより阻害される場合は使用しない

断線等により機器を破損するおそれがあります。

バッテリー・充電器及び機器を-20°C以下や50°C以上になる環境、

湿度の高い環境(85%以上)で保管しない

バッテリーの液漏れ・発熱・発火・破裂のおそれがあります。
さびなどにより機器が破損するおそれがあります。

湿気、埃の多いところで使用しない、保管しない

発熱・発火・破損につながるおそれがあります。

使用前に十分な点検を行い、破損等がみられた場合は使用をしない

フレームの変形や割れ、ベルト類の破損は、不適切なベルトの使用による痛みや、確実なアシストが得られない等、思わぬけがをするおそれがあります。

機器の可動範囲外の方向に力をかけるように使用しない

機器が思わぬ動作をして、けがをするおそれがあります。
機器が破損する場合があります。

機器の外装等への過度な衝撃を与えない

外装や操作部等が破損するおそれがあります。

機器のお手入れの際、薄めた中性洗剤以外の溶剤等は使用しない

酸性・アルカリ性洗剤等により樹脂のフレーム等が破損する場合があります。
塗装がはげるおそれがあります。

充電アダプターに無理な力を与えない

充電アダプターの破損や発煙・発火の原因となります。

充電器、バッテリー及び機器に薬品・溶剤等を付着させない

変色、機器の劣化・破損につながるおそれがあります。

機器を直接火気や熱源に近づけない

機器やベルトが変形したり、破損するおそれがあります。



禁止

⚠ 注意

使用の前に適切な装着方法を取扱説明書で確認する

正しく装着しないと適正なアシストが得られません。

機器が思わぬ動作をして、けがをするおそれがあります。

機器着脱時は電源OFFの状態(19ページ)になっていることを確認する

機器が思わぬ動作をして、けがをするおそれがあります。

機器を装着して着座する際は待機状態にするか、電源を切り、電装ボックスが体の下に来ないようにする

機器が破損するおそれがあります。着座時や起立時にアシストが働き思わぬけがをするおそれがあります。

アシストが不要な作業はアシストを切る

意図しないアシストにより作業を阻害したり、けがをするおそれがあります。

使用中にずれ、ゆるみ、過度の圧迫等が発生した場合は使用を中止し、装着を見直す

ずれ、ゆるみ、または過度の圧迫等により皮膚に擦過等のけがをするおそれがあります。

胸フレームで体重を支える使用は避ける

機器の破損によりけがをするおそれがあります。

荷物運搬時、荷物と胸フレームとの接触を避ける

機器がひっかかって荷物を傷つけたり、動作を阻害してバランスを崩すおそれがあります。

使用時はバッテリーカバーを閉める

バッテリーの脱落によるアシスト喪失のおそれがあります。

システムコネクターや充電アダプター及び充電器とバッテリーのコネクタ部にはほこり等がたまらないよう定期的に点検する

発熱・発火の原因となるおそれがあります。

使用時はベルト・バックルを荷物にひっかけないように注意する

急な動作阻害などによりけがをするおそれがあります。

装着する際は周囲を確認し、機器が人や家具等にぶつからないように注意する

機器が破損し、周囲を傷つけるおそれがあります。

製品使用前に販売元より安全上の注意に関して十分に説明を受けてから使用する

誤使用や誤操作がけがにつながるおそれがあります。

特殊環境下(港、火山等)で使用する場合は販売元に問い合わせる

本製品は、環境対策が行われておりません。機器の早期劣化等につながるおそれがあります。

!
必ず
守る

! 注意

電源ケーブルは確実に奥まで挿入して接続する
接触不良による発熱・発火のおそれがあります。

バッテリー交換は取り付け指示を守る
無理な力が加わると破損・発火するおそれがあります。

雨水等でぬれた際は水滴をふき取る
ぬれたまま置いておくとさびや短絡の原因となります。

お手入れの際はバッテリーを外す
機器の不意な動作によりけがをするおそれがあります。

クッションやベルト類の洗濯は、洗濯用ネットに入れるなどバックル等が洗濯機内部に接触しないようにし、陰干しする
ベルト類の著しい劣化や、破損につながるおそれがあります。

保管時はバッテリーカバーを閉める
内部に異物や水が入ると発煙・発火のおそれがあります。

充電器を使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜く
待機中も電力を消費しています。

ケーブルは使用中にひっかけたりしないように注意する
配線のひっかかりで断線や巻き込まれにつながるおそれがあります。

使用しない時は主電源を切り、バッテリーを外す
発熱や発火により、けがをするおそれがあります。
バッテリーの寿命が著しく低下する場合があります。
機器が思わぬ動作をしてけがをするおそれがあります。

使用しない時は、子供の手の届かない安全な場所に保管する
機器の破損やけがにつながるおそれがあります。

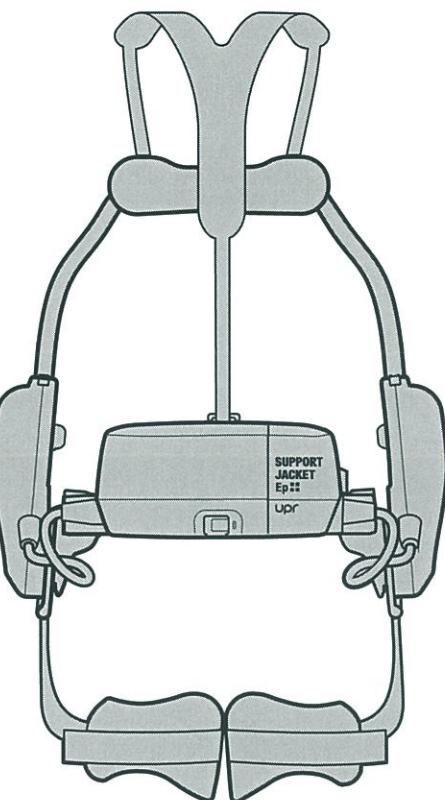
本製品は必ず衣類の上に装着し肌に直接当てない
硬い材料との摩擦等で擦過等のけがをするおそれがあります。

製品の発送時は、弊社指定の梱包箱（以下、「通函」といいます）を使用する
弊社指定外の梱包にて輸送する場合は製品の破損につながるおそれがあります。

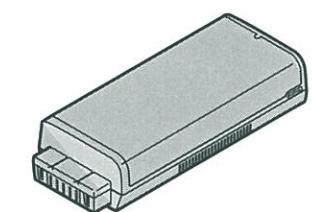
ご使用の前に

パッケージ内容 () 内は個数です。

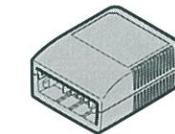
本体 (1)



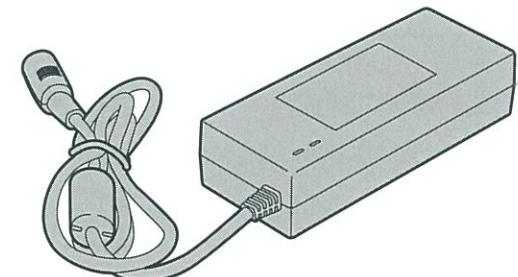
バッテリー (1)



充電アダプター (1)

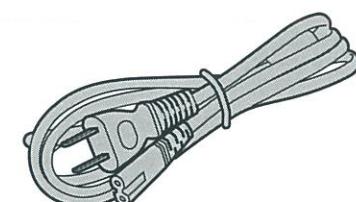


充電器 (1)



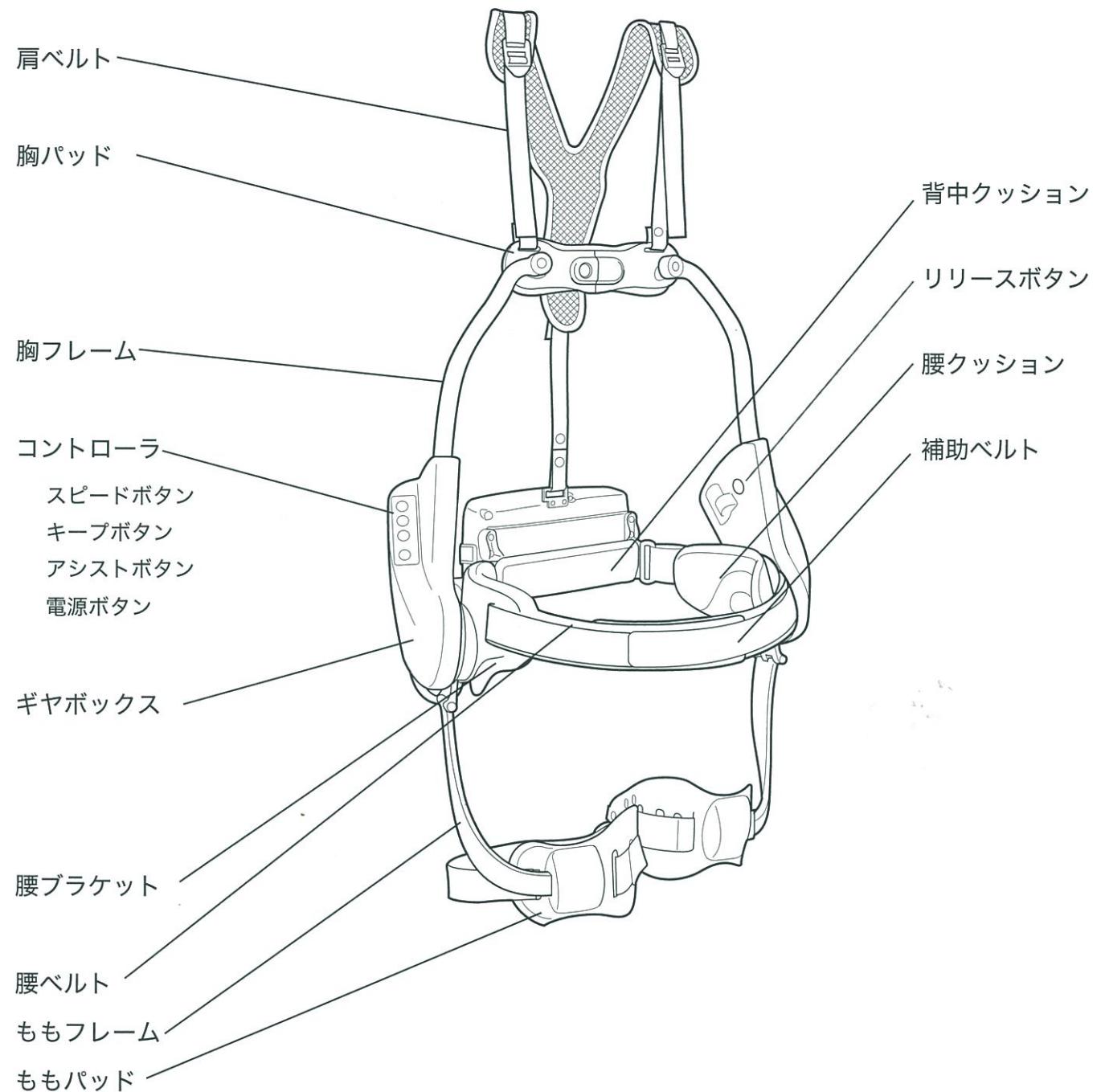
取扱説明書 / 保証内容 (1)

電源ケーブル (1)

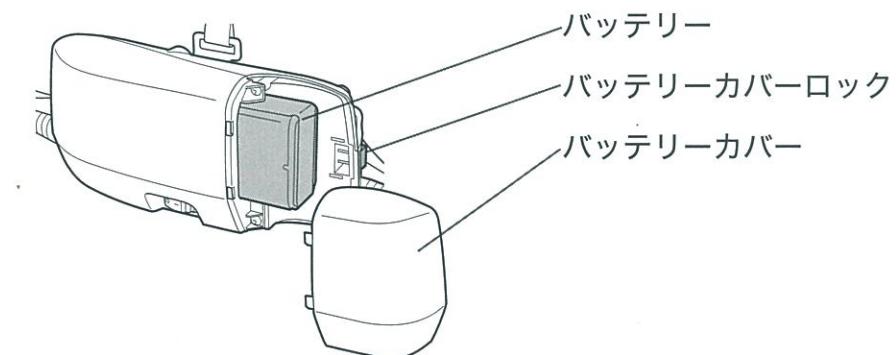
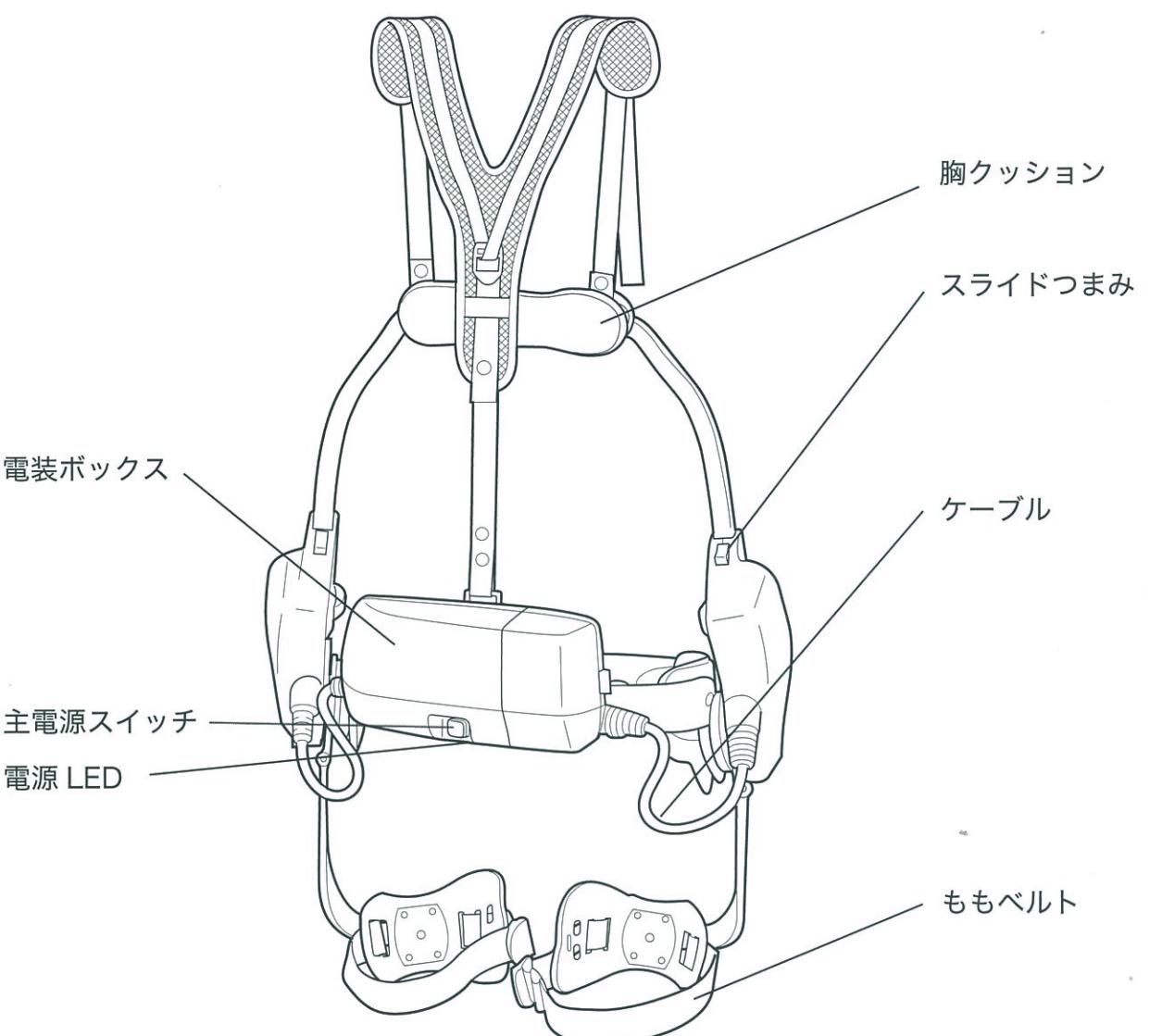


各部の構成

正面



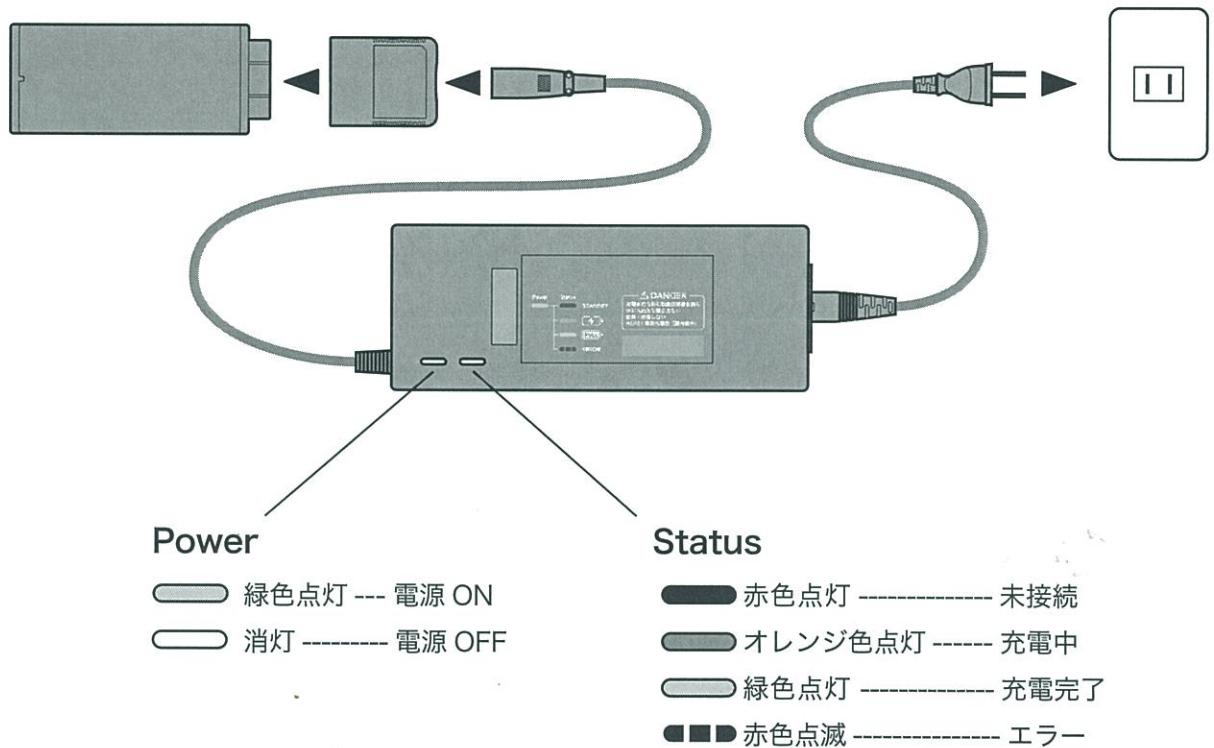
背面



バッテリーの充電

充電方法

- ① 充電器に充電アダプターと電源ケーブルを取り付ける。
 - ② 電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込む。(Power - 緑色点灯、Status - 赤色点灯)
 - ③ バッテリーを充電アダプターのガイドに沿って奥まで差し込む。
- (充電が始まります。Status > 充電状態を表示、満充電になると緑色点灯)
- 初めてバッテリーを使用する際や、保管の際は、必ず満充電にしてください。
 - 充電不足での保管は、過放電によるバッテリー破損につながるおそれがあります。
 - 【重要】**保管の際は過放電防止の為、三ヶ月毎に満充電してください。
 - 満充電のバッテリーを差し込んだ際は、過充電を避けるために、Status は赤色点灯(未接続)になります。



バッテリーアラーム

機器を安全にご使用いただくため、バッテリーの劣化をお知らせするバッテリーアラームが本体に実装されています。(充電回数の目安は500回です。)劣化したバッテリーを本体に取り付け起動した際は、アラーム音が鳴り続けるとともに、運転状態に移行しません。アラーム音が鳴ったバッテリーはご使用できませんので、下記「ご使用済みのバッテリーについて」に従ってください。

ご使用済みのバッテリーについて

本製品に使用しているリチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みバッテリーは、アシストスーツ事業部に送付ください。

- バッテリー以外は使用された地域のルールに従って廃棄してください。

本機の特長

前屈姿勢や起き上がりの力を補助、軽作業での荷物の上げ下ろし等による腰や身体の負担を軽減させます。

- 必ずしも完全に負担を軽減できるものではなく、装着者が持っている以上の力を発揮できる製品ではありません。

機能説明

アシストモード（起き上がり補助）

荷物を持ち上げる際、腰（股関節）の動きで持ち上げると効果的にアシストが働きます。荷物の重さ、荷運びの速度に合わせてアシストボタン（19 ページ）でアシストの強さを調節してください。

左右独立で制御をしているため、斜め取り等の動きもアシストできます。

- 本製品を装着して過度に重たい荷物を持つことや必要以上に腰に負担のかかる姿勢をとることはおやめください。



キープモード（前屈姿勢補助）

荷物をおろす作業もしくは前屈姿勢での作業の際、キープを設定しているとゆっくり荷物をおろすことが出来、腰への負担を軽減します。

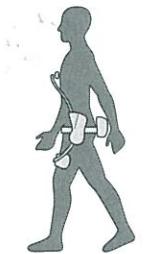
荷物の重さ、荷運びの速度に合わせてキープボタン（19 ページ）でキープの強さを調節してください。



歩行モード

歩行時はアシスト・キープが自動的に停止状態になるため動作を妨げません。

- アシストモード・キープモード中に歩き出すと自動的に歩行モードに移行するため、アシスト力・キープ力の急変動にご注意ください。



より快適にする調整機能

スピード調整機能

スピードボタンでアシストモード時の機器の反応速度を調整することができます。

【重要】 小さな動作で機器が過敏にアシストする際は、スピードを 1 段階下げてください。

自動モード切替機能

装着者の動作を自動的に検知し、（アシスト・キープ・歩行）モードが自動的に切り替わります。モードの移行に慣れるまでは弱いアシスト力・キープ力でご使用ください。

エラー

異常検知時にはアシスト力とキープ力が喪失します。異常からの復帰については 20 ページをご参照ください。

装着方法

1 胸フレームの取り付け

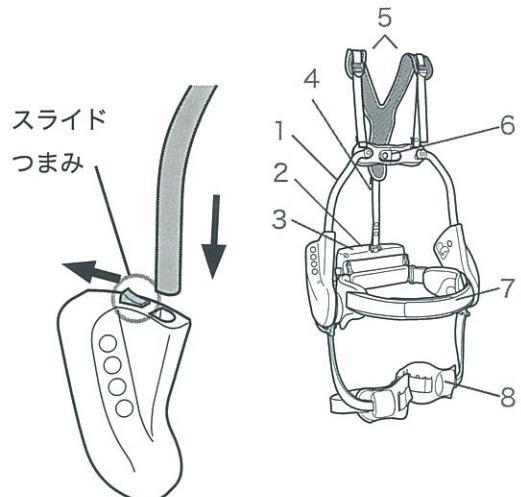
- スライドつまみをずらしながら、

- 胸フレームを奥まで差し込む。

●取り付け前に胸フレーム L/R とギヤボックスの L/R が一致していることを確認してください。

●スライドつまみをずらした状態で胸フレームを軽く上に引っ張って抜けないことを確認してください。

※商品の構造上若干のがたつきがありますが、異常ではありません。



2 バッテリーの取り付け

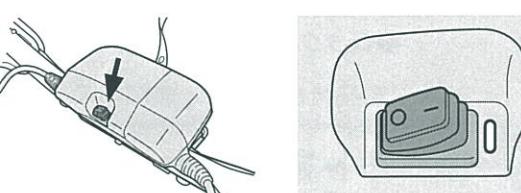
- 主電源スイッチの OFF "O" を確認する。

- バッテリーカバーロックを押しながらバッテリーカバーを取り外す。

- バッテリーを取り付ける。

●バッテリーはしっかりと奥まで差し込んでください。

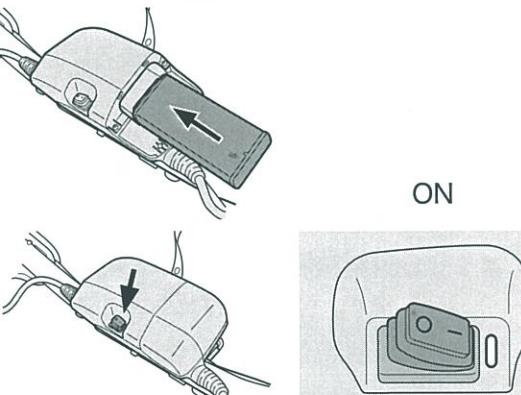
- バッテリーカバーを閉じる。



3 主電源スイッチ ON

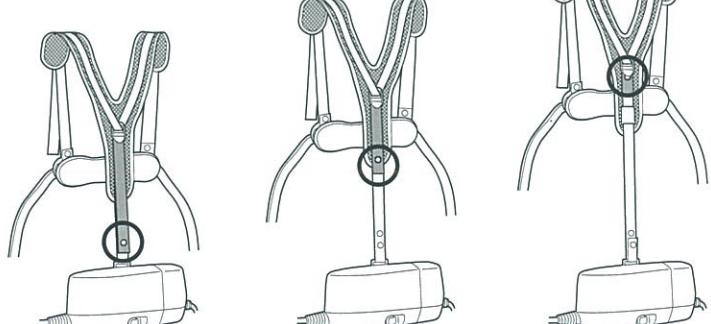
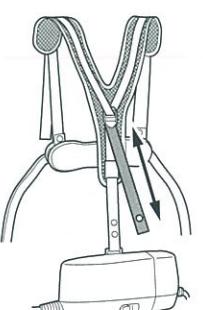
- バッテリーカバーを取り付けた後、主電源スイッチの “一” を押して ON 側にします。（右側の電源 LED は電源ボタンで起動するまで点灯しません）

●必ずバッテリーカバーのロックがかかっていることを確認してください。ロックされていないとバッテリーが脱落するおそれがあります。



4 肩ベルト調節

- 装着の前に肩ベルトの背中ボタンで長さを調節する。

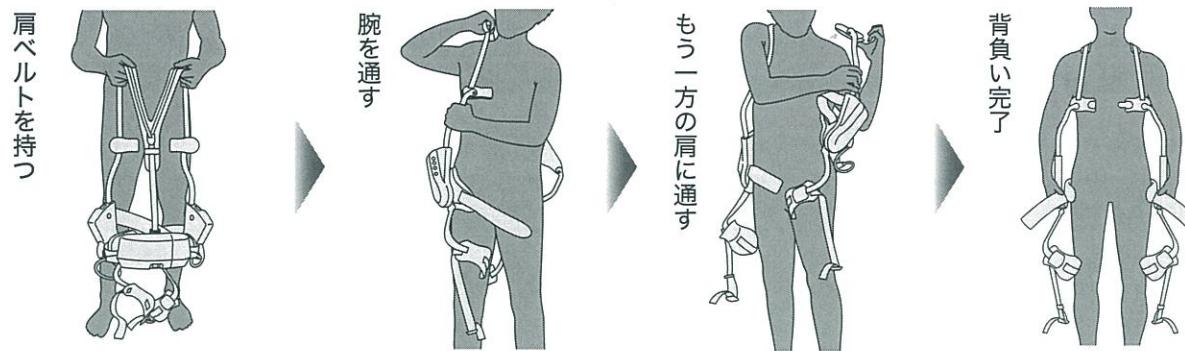


肩ベルト長さ	短	中	長
身長 (cm)	155~165	165~180	180~190

5 背負う

① 肩ベルトに肩を通して装着する。

●胸フレームが周囲にぶつからないように注意して装着してください。



6 胸パッドを留める

① 使用中に抜けないようにしっかりと差し込む。

●ロックがかかったことを確認してください。



7 腰ベルトを留める

① 腰ベルト先端が基準マークを隠すように留める。

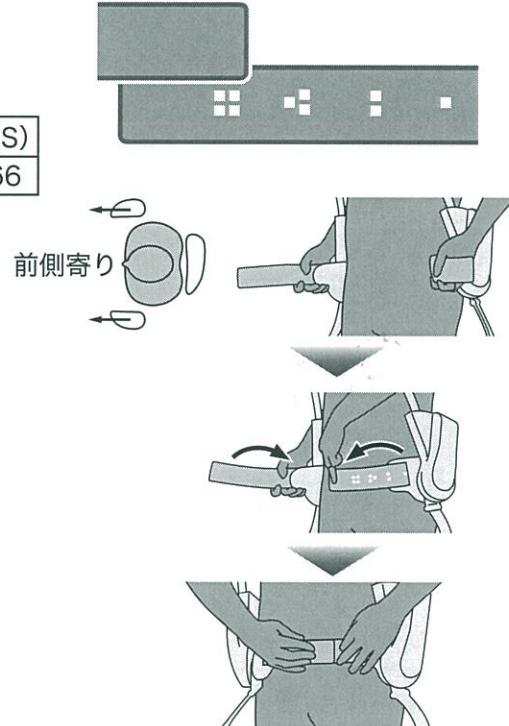
装着者	■ (LL)	■ (L)	■ (M)	■ (S)
ズボンサイズ(cm)	117~94	94~84	84~76	76~66

② ギヤボックが背中につく場合は、腰ベルトを前に引く。

●ギヤボックスが体の後ろにあると④の補助ベルトをしめられません。

③ ギヤボックスの上下位置を調整する。

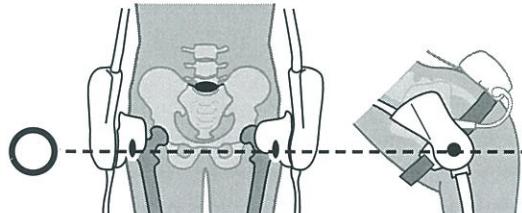
●腰ベルトは、骨盤より下につけ、ギヤボックスの回転軸と股関節の回軸が一致する位置で留めます。(腰のくびれたところや、骨盤上部でのっぱり位置ではありません)



ポイント 腰ベルトは骨盤より下につける

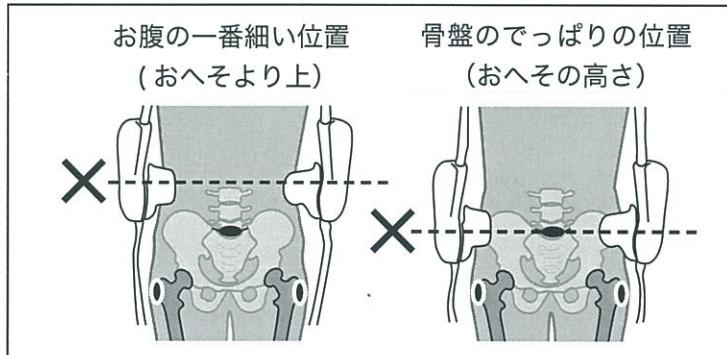
正しい装着

骨盤より下の股関節の回転軸と合った位置
腰を曲げてもギヤボックスが動かない位置



悪い装着

お腹の一番細い位置
(おへそより上)
骨盤のでっぱりの位置
(おへその高さ)



④ 補助ベルトをしめギヤボックスの前後位置を確認する。

●ギヤボックスを前側寄りにしてから補助ベルトを体の真横に引き、しっかりとしめた後、腰ベルトに留めてください。

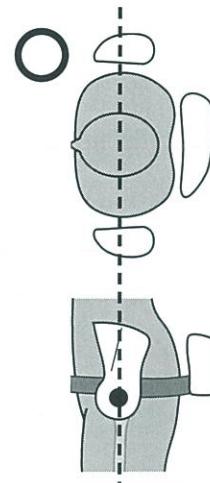
ポイント 補助ベルトをしっかりとしめる



ポイント ギヤボックスを真横にセットする

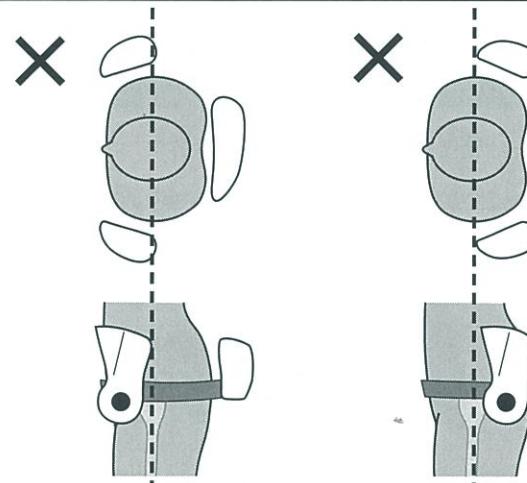
正しい装着

ギヤボックスが体の真横

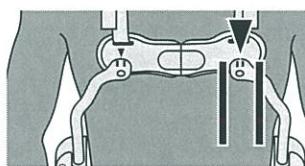


悪い装着

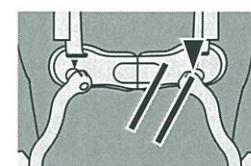
ギヤボックスの間違った位置と対処方法



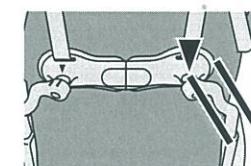
体の真横が正しい位置



ギヤボックスが前にくる



ギヤボックスが背中につく



重要

胸フレーム先端のII指標の間に胸パッドの▼指標が入るようにします。

腰ベルトがきついです。
補助ベルトを外し7に戻り
腰ベルトを少し緩めます。

例) 腰ベルトの基準を
SからMに変更する

腰ベルトが緩いです。
補助ベルトを外し7に戻り
腰ベルトを少し緩めます。

例) 腰ベルトの基準を
SからMに変更する

●それが大きく腰の真横にこない場合は、腰ベルトを留める前に補助ベルトを緩ませて、ギヤボックスを前に動かしてください。

8 ももベルトをしめる

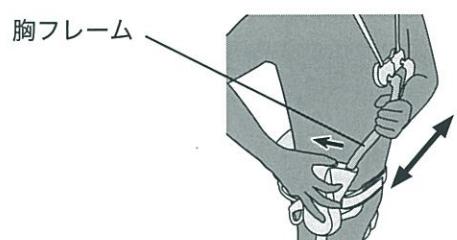
- ① ももベルトを外側から回して留める。
- ② ベルト端を引き、しめる。

ポイント ももベルトはしめすぎない

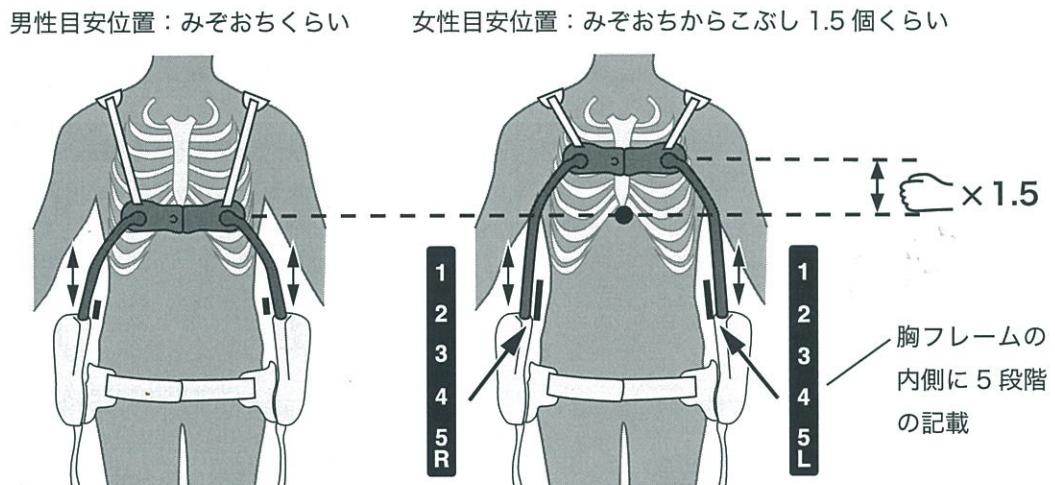


9 胸フレーム高さ調整

- ① 胸フレームは、スライドつまみを矢印方向にずらし、ロックを外して高さを調整する。
- 左右の高さが等しくなるよう注意し、下図を参考に調節してください。



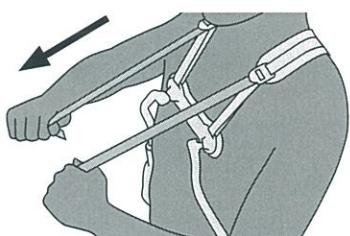
ポイント 胸フレームの高さを体に合わせる



10 肩ベルトの長さ調整

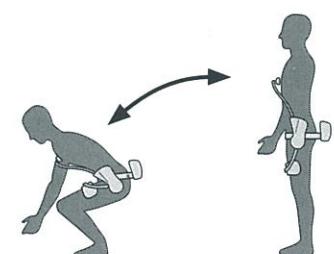
- ① たるみが無くなるよう軽くしめる。
- たるみが大きい場合アシストが動作とマッチにくくなります。
(しめすぎた場合は動きにくくなるのでご注意下さい。)

ポイント 肩ベルトはしめすぎない



11 動作確認

- ① しゃがんだりして動きが阻害されないことを確認する。
- しめすぎて動きにくい場合は各ベルトを緩めるなど調整してください。



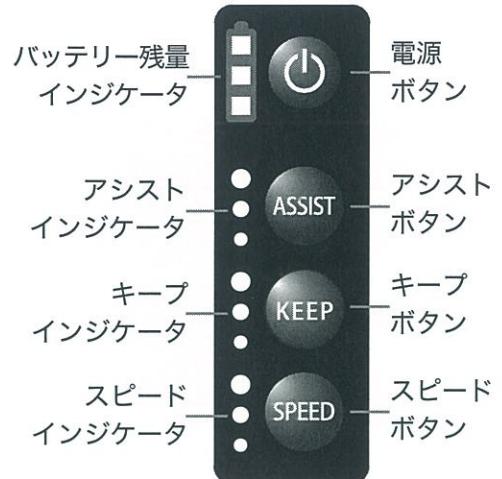
起動方法

1 電源ボタンを長押し

全てのインジケーターが点灯するまで電源ボタンを長押しし、電源ボタンから指を離すと、待機状態（バッテリー残量インジケータが白色点滅）になります。
電源ボタンを長押ししている間は、基本位置を記憶していますので動かないでください。
※基本位置とは、機器のアシストにより体が戻ってくる位置のことです。

2 電源ボタンを一回押し

電源ボタンを一回押して、待機状態を解除し運転状態（バッテリー残量インジケータが白色点灯）にしてください。
起動完了です。作業を開始してください。
※再度電源ボタンを一回押すと待機状態となります。



終了方法

電源ボタンを長押し

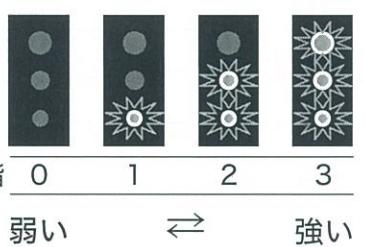
待機状態もしくは運転状態でアラーム音（ピ-ピ-ピ-）が鳴り終わるまで電源ボタンを長押しすると電源OFF状態になります。

調整方法

アシストの調整

アシストボタンを押すと、起き上がりを補助する力を調整できます。標準設定は段階2です。
(アシストインジケータの点灯数が多いほど強くなります。)

アシスト・キープ力



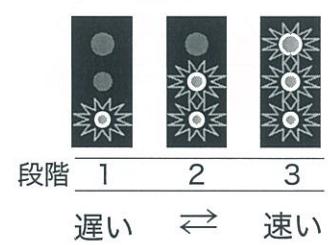
キープの調整

キープボタンを押すと前屈姿勢を補助する力を調整できます。
標準設定は段階0です。
(キープインジケータの点灯数が多いほど強くなります。)

スピードの調整 (スピード：機器の反応速度)

スピードボタンでアシストモード時の機器の反応速度を調整できます。標準設定は段階1です。
作業者の作業内容、作業スピードに合わせて選んでください。
(スピードインジケータの点灯数が多いほど早くなります。)

スピード



バッテリー残量の表示

バッテリー残量は以下のバッテリー残量インジケータ点灯状況を目安にしてください。

赤色1つ点灯でアラーム音が断続的に鳴ります。アラーム音が鳴ったらバッテリーを充電してください。

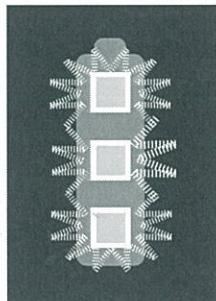


エラーの表示

再起動可能なエラー

バッテリー残量インジケータが黄色点灯した時は、電源ボタンを長押しして電源をOFF状態にし、再起動してください。再起動可能なエラーが頻発する場合はお買い上げの販売元へご連絡ください。再起動可能なエラーには、未装着検知、異常温度、動作速度超過、通信エラー等があります。

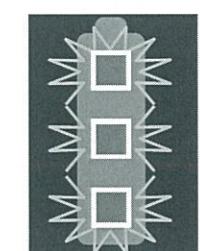
黄色点灯



重大なエラー

バッテリー残量インジケータが赤色点灯した時は故障の可能性があります。
機器の使用を中止して、アシストスーツ事業部へご連絡ください。

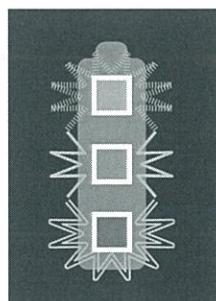
赤色点灯



バッテリーアラーム

バッテリー残量インジケータが青赤緑に点灯したときは、バッテリーセル寿命になります。
バッテリーは「ご使用済みのバッテリーについて」(12ページ)に従ってください。

青赤緑点灯



作業後の操作

- ① 電源ボタンを長押しして、電源を切る。
- ② ももベルト、腰ベルト、補助ベルトを外してから機器を外す。
- ③ 主電源スイッチを切る。
- ④ バッテリーを取り外す。

お手入れ

清掃

各部の汚れは強く絞った布でふいてください。薄めた中性洗剤であれば使用可能です。

また、お手入れの前に主電源スイッチをOFFにしてバッテリーを抜いてください。

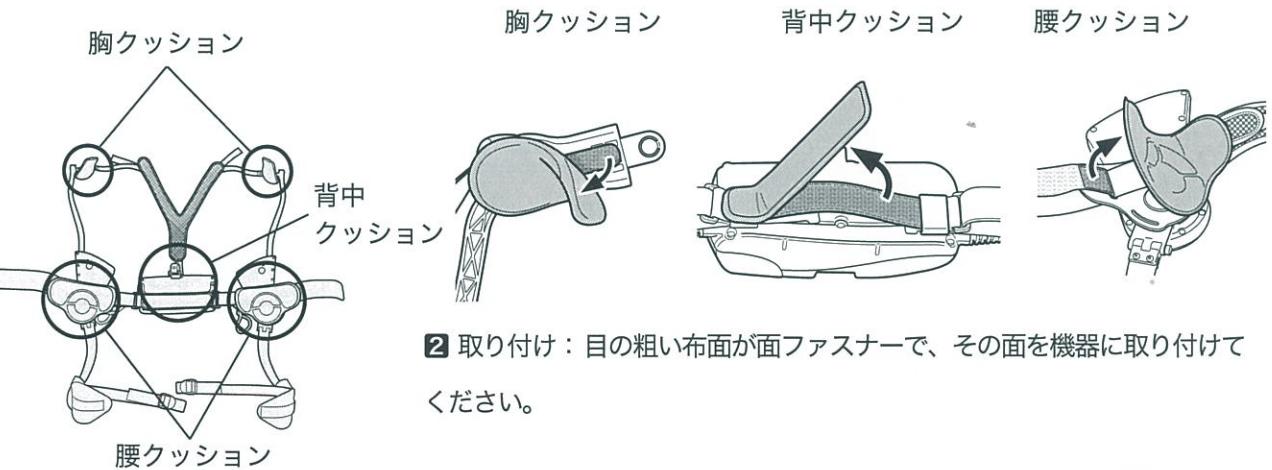
バッテリーカバーは必ず閉めてください。

- シンナー、トルエンなどの有機溶剤や酸・アルカリ性洗剤等を使った洗浄及び、水洗いはしないでください。
機器の故障や破損の原因となります。

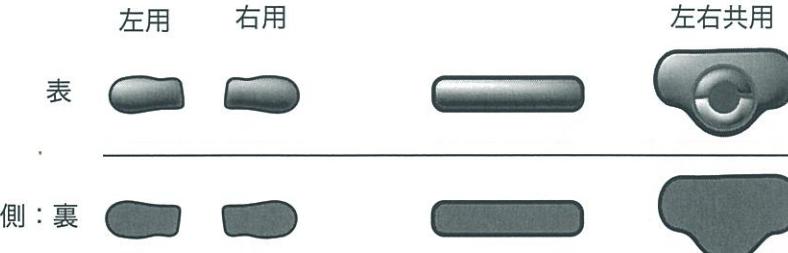
胸・背中・腰のクッション取り外し、取り付け

- ① 取り外し：クッションの端面を持ち、取り外します。

●洗濯する場合は洗濯用ネットに入れてください。



- ② 取り付け：目の粗い布面が面ファスナーで、その面を機器に取り付けてください。



ベルト類取り扱い

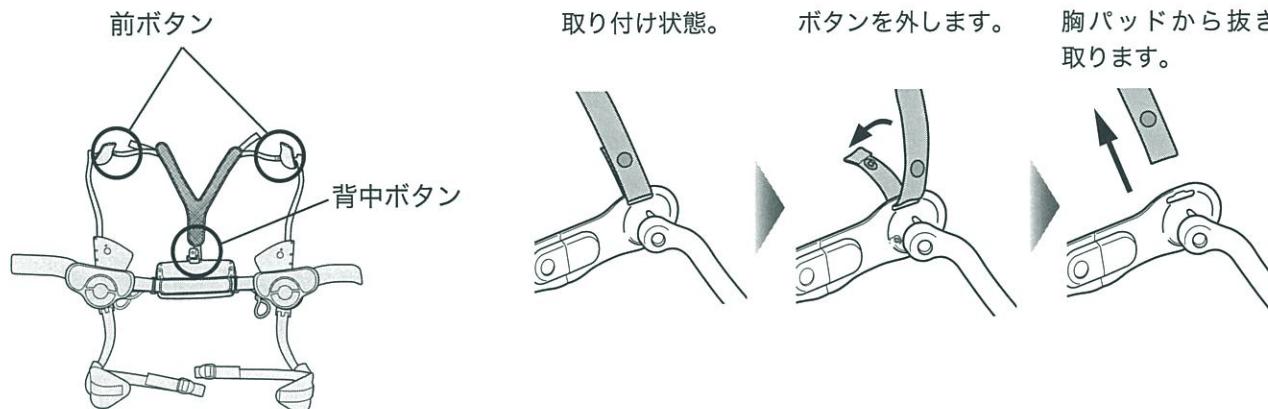
取り外しは、22～23ページをご参照ください。ベルト類の面ファスナーがくっつかないなど摩耗した場合は、22～25ページに従い交換を行ってください。

ベルト類の取り外し方

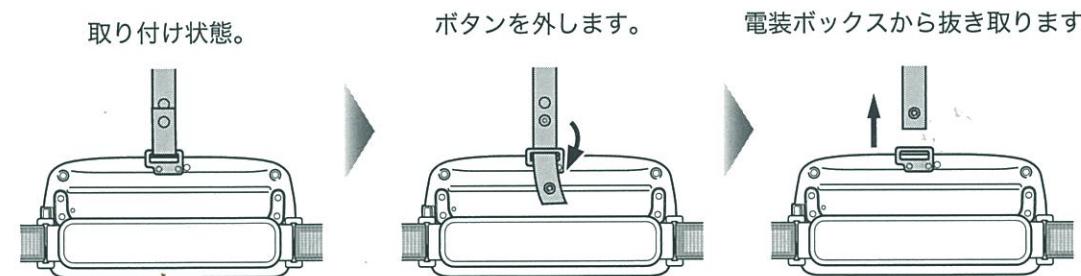
ベルト類の交換等の際は、下記手順に従い本体より取り外してください。

肩ベルトの取り外し（3ヶ所）

- ① 前ボタンを外し、胸パッドから肩ベルトを抜き取る。（左 / 右）

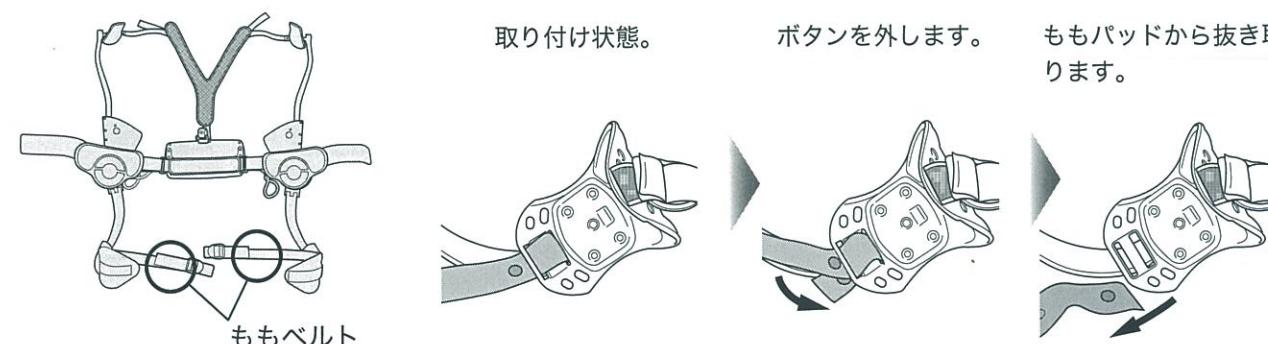


- ② 背中ボタンを外し、電装ボックスから抜き取る。



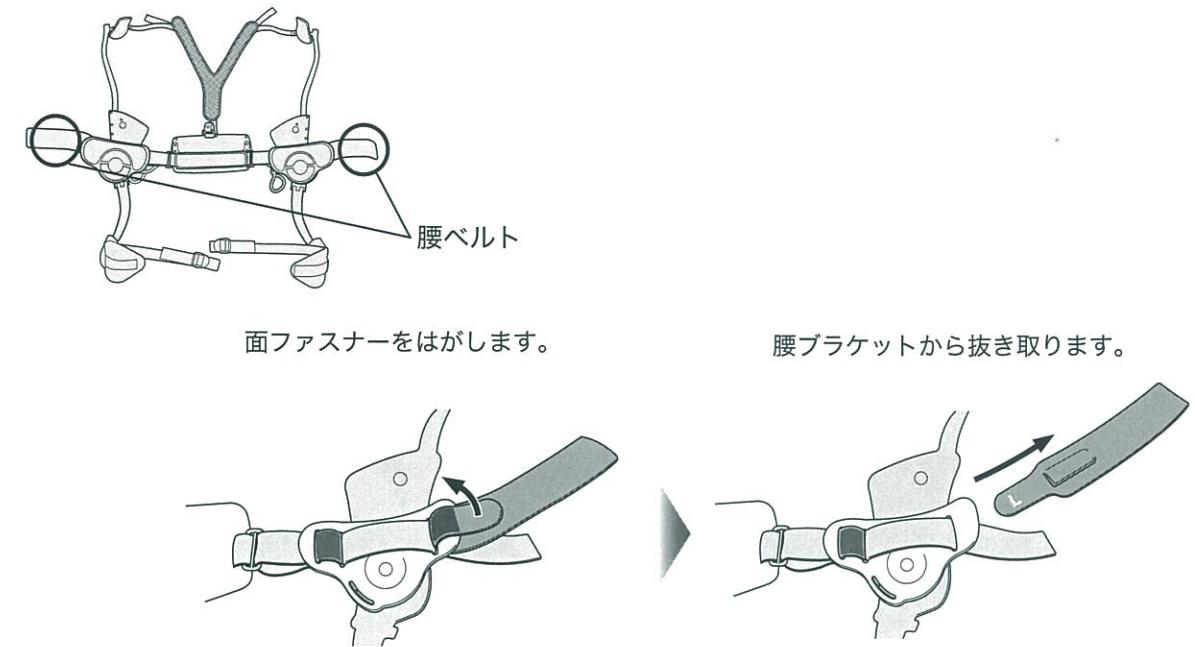
ももベルトの取り外し（左右2ヶ所）

- ① 取り付けボタンを外し、ももパッドから抜き取る。



腰ベルトの取り外し（左右2ヶ所）

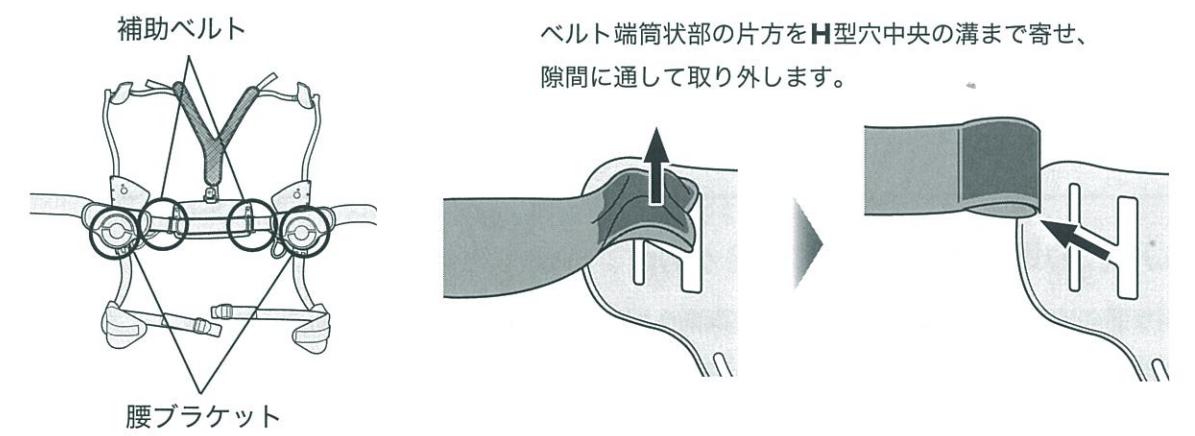
- ① 面ファスナーをはがし、腰プラケットから抜き取る。



補助ベルトの取り外し（左右2ヶ所）

- ① ベルト先端を腰プラケットから抜き取る。

- ② 続いて電装ボックスから抜き取った後、腰プラケットから取り外す。

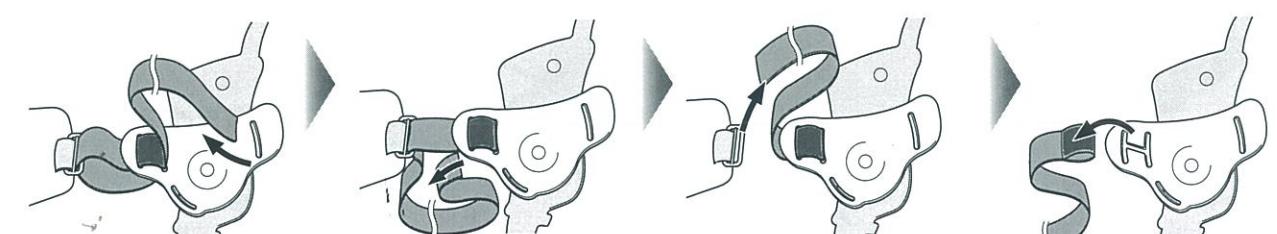


腰プラケット
から補助ベルト先端を抜き取ります。

続いて腰プラケット後側からも抜き取ります。

電装ボックスから抜き取ります。

腰プラケットから取り外します。

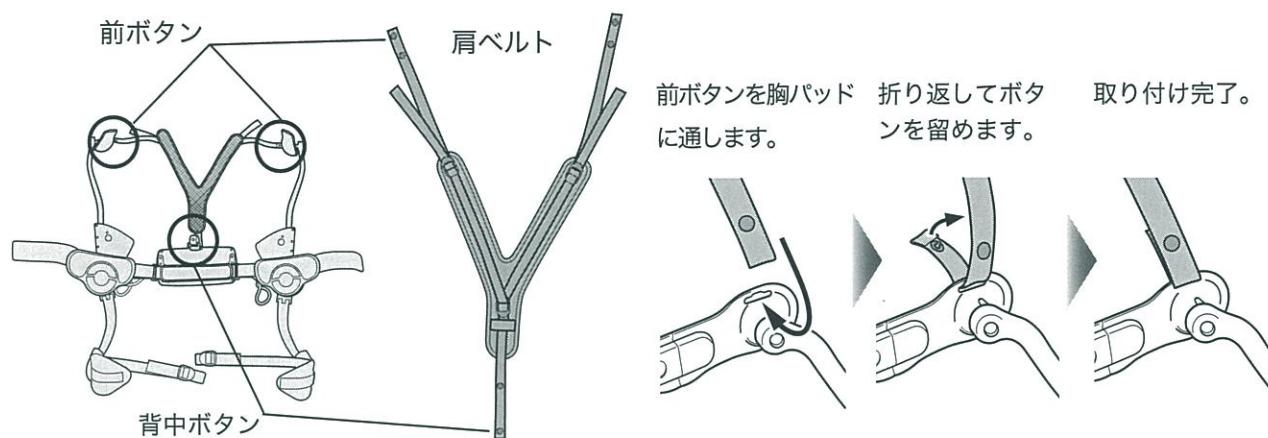


ベルト類の取り付け方

ベルト類は、裏表に注意して下記手順に従い本体に取り付けてください。

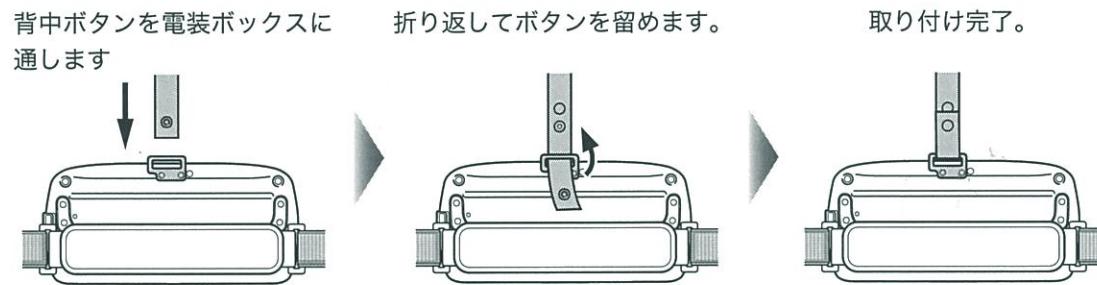
肩ベルトの取り付け（3ヶ所）

- ① 前ボタンを胸パッドの胸フレーム側から通して折り返し、ボタンを留める。（右 / 左）



- ② 肩ベルトの背中ボタンは、外側から電装ボックスに通し、ボタンを留める。

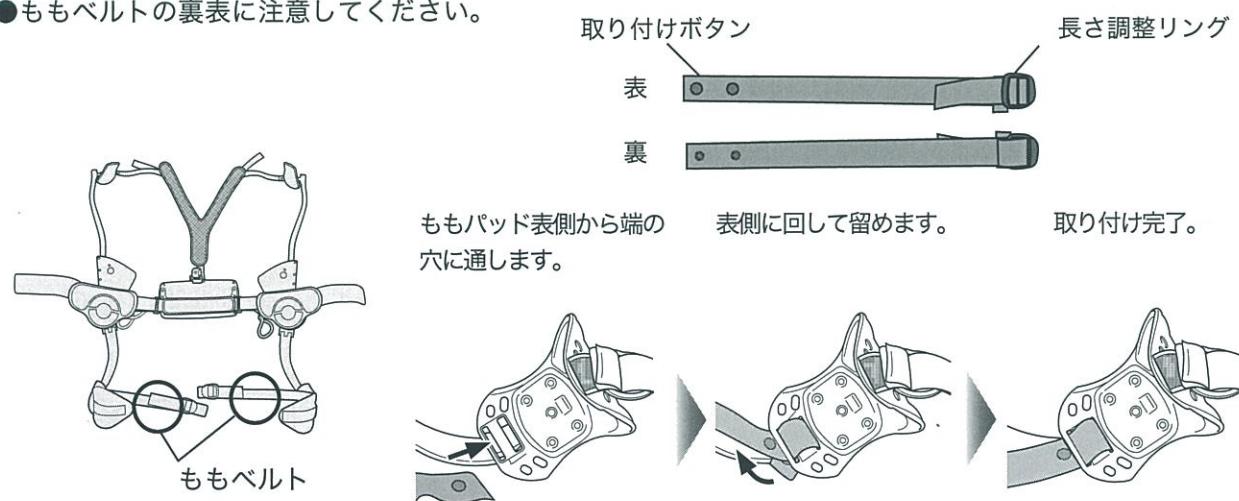
●肩ベルトがねじれないよう注意してください。



ももベルトの取り付け（左右2ヶ所）

- ① ももパッドの穴表側から裏側に通し、再度表側へ回し、折り返してボタンを留める。

●ももベルトの裏表に注意してください。

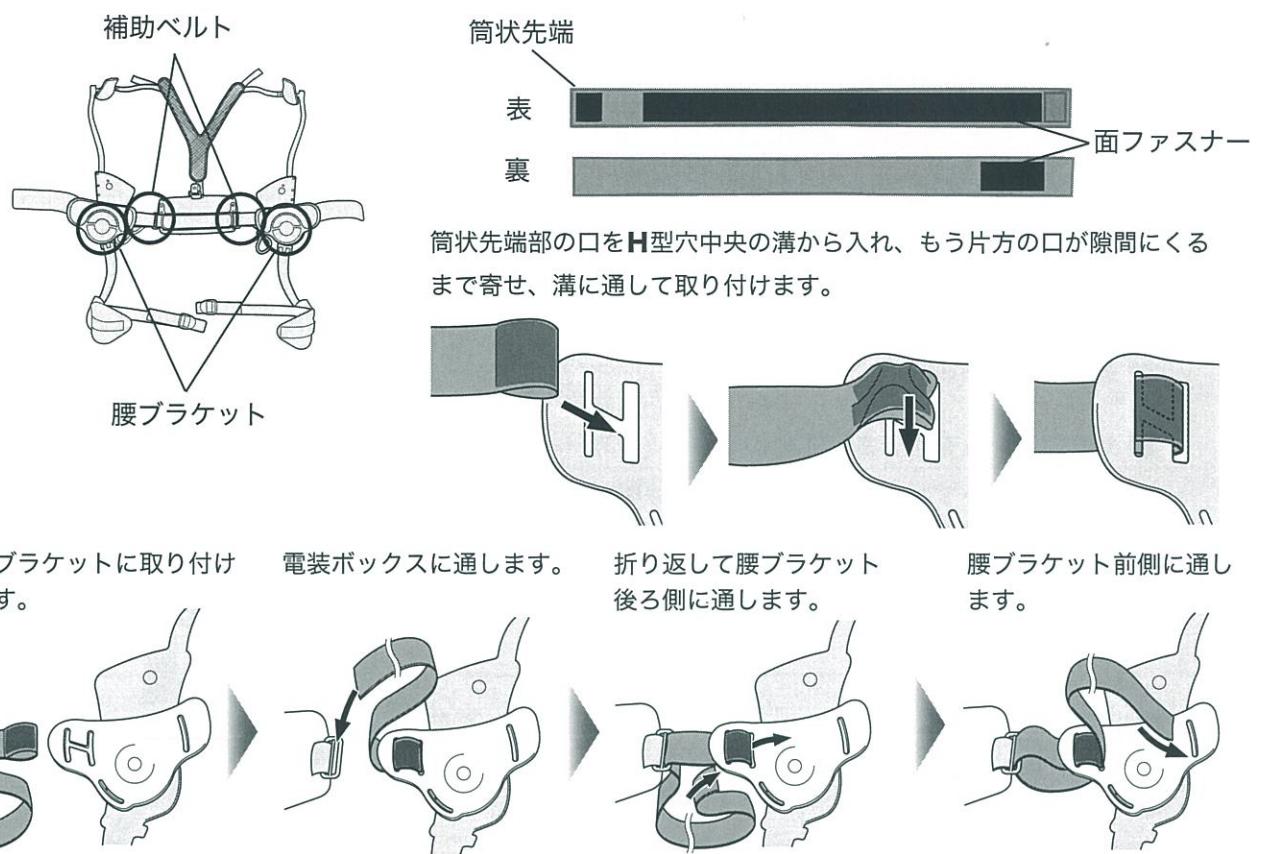


補助ベルトの取り付け（左右2ヶ所）

- ① 筒状先端を腰ブラケットのH型穴に通して取り付ける。

●補助ベルトの裏表に注意してください。

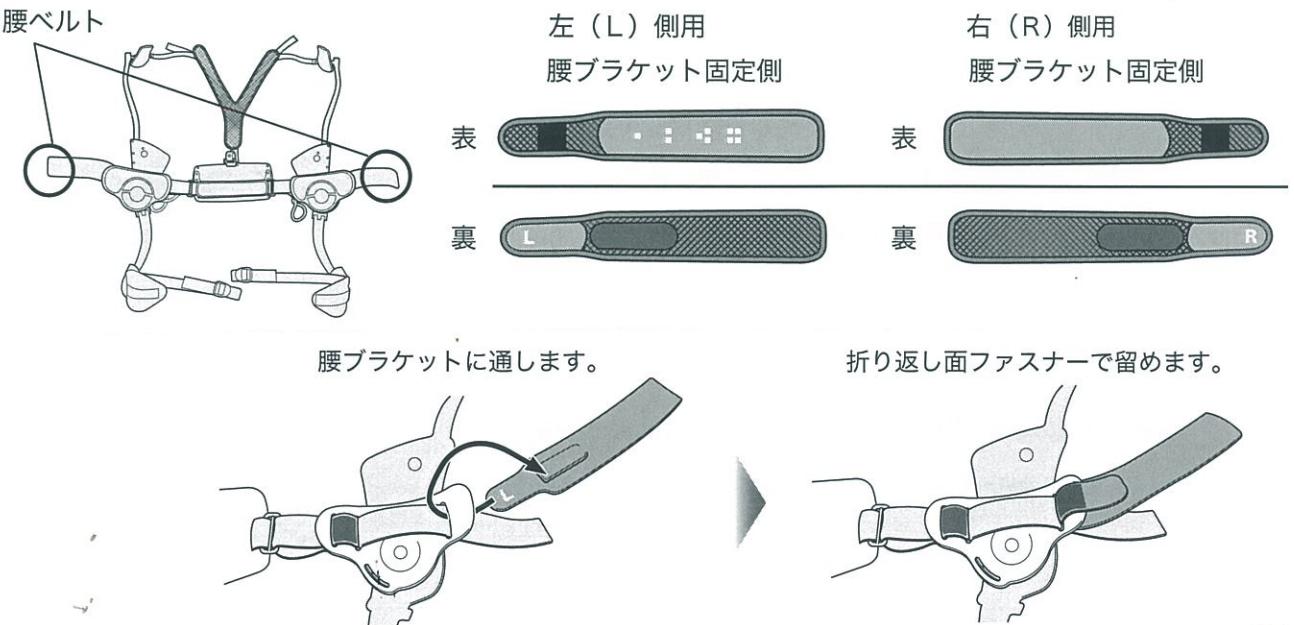
- ② 続いて補助ベルト先端を電装ボックスに通し、折り返して腰ブラケットに通す。



腰ベルトの取り付け（左右2ヶ所）

- ① 腰ブラケット外側から通し、折り返して面ファスナーで留める。

●腰ベルトの右側用・左側用の区別、裏表に注意してください。



収納方法

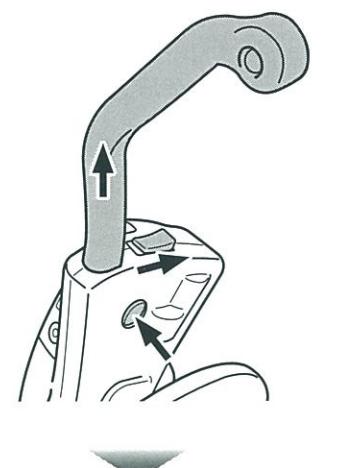
1 収納準備

【重要】 収納する前には主電源スイッチが OFF になり、バッテリーが取り外されていることを確認してください。

① 胸フレームを取り外す。

リリースボタンを押し、同時にスライドつまみを矢印方向にずらしながら胸フレームを抜いてください。

●リリースボタンとスライドつまみがしっかりと押せてない状態で引き抜くと機器を破損するおそれがあります。

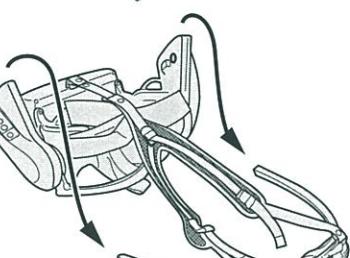


② 胸パッドを結合する。

③ ももフレームを回転させて曲げる。

④ 電装ボックスにギヤボックスを寄せる。

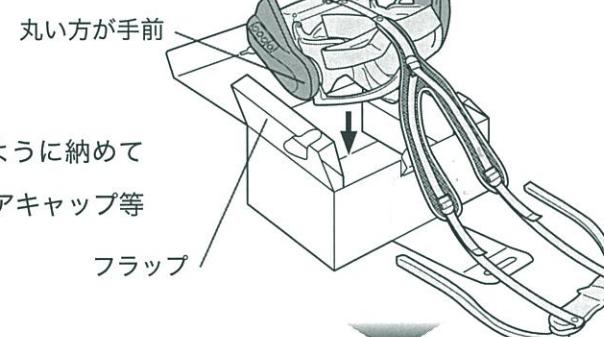
●腰ベルトをとめるとまとまり易いです。



2 収納箱に収める

① 向きに注意しながら機体を梱包箱に納める。

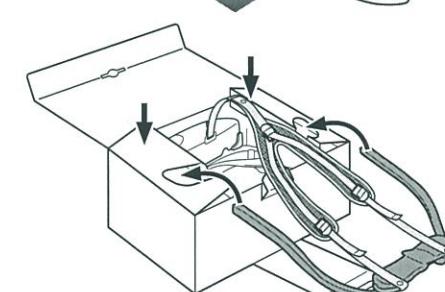
●ギヤボックスのコントローラが上を向くように納めてください。また、製品が傷つかないようエアキャップ等で包んでください。



② 続いて左右のフラップを折り曲げる。

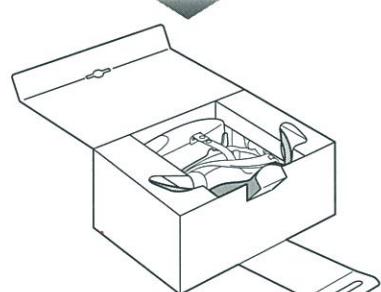
③ フラップでギヤボックスが固定されていることを確認した後、胸フレームをフラップの穴に差し込む。

●左右のフラップの穴の奥まで胸フレームを入れます。



④ フタを閉じる。

注意：発送の際は、製品を保護するため、必ず白箱をダンボールの外装箱に収めてください。



質問と回答

質問	回答
装着時の注意はありますか。	取扱説明書にそって正しく装着ください、正しく装着しないとアシスト力が十分に伝わりません。
うまく装着するにはどうすればいいですか。	腰ベルトをしっかりと止めて使用してください。緩い場合、アシストが感じられなかったり、動作を阻害するおそれがあります。 ももベルトや肩ベルトをしめすぎないでください。 ギヤボックスを腰の真横にセットしてください。
使用していると、全体がずりあがってくるのですがどうすればいいですか。	腰ベルトの装着位置やしめ加減を確認してください。
持ち上げる荷物に制約はありますか。	普段運搬する荷物が対象です。普段持てないような重い荷物の運搬には使用しないでください。
効果的なアシストを得るにはどのような動きをすればいいですか。	腕に頼らず腰を使って荷物を持ち上げてください。
アシスト力が強すぎて急激に起こされる場合はどうすればいいですか。	アシストやキープを弱めてください。
体が曲がらないのですがどうすればいいですか（前傾しづらい）。	キープを弱めてください。
バッテリーの保管及び使用上の注意はありますか。	長期使用しない際は3ヶ月に1回、満充電にしてください。充電されない状態で保管されるとバッテリーが破損します。
ベルトが切れたり、クッションが割れた時はどうすればいいですか。	消耗品のため、販売代理店に連絡して交換部品を購入してください。
収納の際などで注意する点はありますか。	エーキャップ（緩衝材）等で製品をくるんだ上で収納してください。
故障したときはどこに連絡すればいいですか。	31ページのアシストスーツ事業部にご連絡ください。

トラブル解決方法

トラブル	考えられる原因	解決方法
アシスト（モータ）が止まる。	バッテリーが充電されていない。	バッテリーを充電してください。
	待機状態になっている。（バッテリー残量インジケーターが白色点滅している。）	電源ボタンを一回押して、待機状態を解除してください。
	エラーが発生している。	主電源スイッチを入れなおしてください。
機器が動かない。	バッテリーと本体の接続にゴミが付着している。	ゴミを取り除いてください。
	バッテリーが充電されていない。	バッテリーを充電してください。
アシスト力、キープ力が感じられない。	アシスト力、キープ力が弱い。	アシストボタン、キープボタンを押して、強さを調整してください。
	装着が間違っている。	15～18ページをみて、装着しなおしてください。
	待機状態になっている。（バッテリー残量インジケーターが白色点滅している。）	電源ボタンを一回押して、待機状態を解除してください。
	モータが高温になっている。	使用を一旦止め、冷やしてください。
	充電できない	バッテリー、充電アダプター、充電器、電源ケーブル、コンセントの接続ができない。
ベルトがとまらない。	ベルト長さが足りない。	装着できない場合は使用をお控えください。
	ベルトや面ファスナーが破損している。	使用を止め、ベルトを交換してください。
	装着方法が間違っている。（ベルトのしめすぎ）	15～18ページを見て正しく装着しなおしてください。
首に胸パッドが当たり苦しい。	装着方法が間違っている。（肩ベルトのしめすぎ）	15～18ページを見て正しく装着しなおしてください。
	キープ力が強い。	キープ力を弱めてください。
	腰・ももベルトをしめすぎている。	腰・ももベルトをゆるめて、位置を調整してください。

上記以外のトラブルでご不明な点が生じた際は、販売元に問い合わせてください。

保証内容

このたびはユーピーアール製品をお買い上げいただきありがとうございます。

●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

保証期間経過後の修理については、販売元にお問い合わせください。

部品の保有期間は、製品生産打ち切り後原則5年（※注1）です。

※注1：部品調達等、諸事情により修理対応が出来なくなる場合があります。

※本保証内容について予告無く変更することがございます。

保証期間

製品納品年月より12カ月

●製品納品年月から12カ月を超えた場合は有料となります。

製品名称

サポートジャケット Ep+ROBO

型番：SJ-Ep11

【修理規定の保証範囲】

- 取扱説明書の注意に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、上記記載の通り無料修理をさせていただきます。本保証書のご提示がない場合や次のような場合には、保証期間中であっても保証の適用除外事項として有料とさせていただきます。
 - ① 取扱説明書などに記載された以外の不適当な条件・環境・取り扱い・使用方法に起因した故障
 - ② 当社以外による改造、修理に起因した故障
 - ③ 取扱説明書などに記載している消耗部品を正しく取り扱い、もしくは交換していれば、防止できたと確認できる故障
 - ④ 当社出荷時の技術水準では、予見が不可能だった事由による故障
 - ⑤ その他、火災、地震、風水害、落雷などの災害、及び塩害、異常電圧など当社の責任ではない外部要因等による故障
 - ⑥ 納品後の輸送や移動及び落下等、異物混入等、不適当なお取り扱いにより生じた故障及び損傷の場合
- 対象製品の故障に起因する二次損害（装置の損傷、機会損失、逸失利益等）及びいかなる損害も保証の対象外とさせていただきます。
- 消耗部品（30ページ）記載の内容及びその交換取り付け調整作業は、有料になります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

＜その他＞

貼られたシール等につきましては、ご相談の上取り外し、修理を実施するものとします。

当社は、修理期間中の代替機の貸出しあげを行わないものとします。

消耗部品

電気部品 ---- バッテリー・充電器セット（充電器・充電アダプター・電源ケーブル）
 ベルト式（肩・腰・補助・もも）
 クッション式（胸・腰・背中）
 胸フレーム式（胸パッド・胸フレーム）
 その他 ----- バッテリーカバー・通函

製品仕様

本体

型番	SJ-Ep11
外寸	幅 50 × 奥行 36 × 高さ 70cm
収納寸法	幅 45 × 奥行 31 × 高さ 22cm
重量	3.4 kg (バッテリーを含む)
アシスト力	23Nm(最大 10kgf)
稼働時間	約 4 時間 弊社想定作業による
動作環境	0 ~ 40°C
想定装着者	身長 155 ~ 190cm 腰囲 66 ~ 117cm

充電器（電源ケーブル、充電アダプターを含む）

品番	AEC21
電源	AC100V 50/60Hz
充電時間	60 ~ 90 分間
重量	約 640g
消費電力	45W

バッテリー

品番	AEP21
種類	21.6V リチウムイオンバッテリー 保護回路付き
容量	1700mAh
重量	約 440g

販売元 / 問い合わせ先

UPR ユーピーアール株式会社

アシストスーツ事業部

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-3-2 内幸町東急ビル 12F

<https://www.upr-net.co.jp/>

TEL : 03-6852-8932 FAX : 03-3593-3016

E-mail: pas-info@upr-net.co.jp

サポートジャケット®はユーピーアール株式会社の登録商標です。

upr